



冬眠しないクマ「穴持たず」に注意!

ツキノワグマ出没注意報(冬期) 発令中

今年は、冬に入っても冬眠しないクマ「穴持たず」が多いため、12月の目撃件数が過去最多の71件となっています。

また、3月以降は早期に冬眠から目覚めるクマが増え、目撃件数が増加するおそれがあります。

穴持たずや早期に冬眠から目覚めるクマへの注意が必要なことから、下記のとおり県内全域にツキノワグマ出没注意報を発令しています。冬のクマから体と命を守るための3箇条や、裏面には事故を減らすための10箇条をまとめました。

注意すべきポイントを確認し、クマに出遭わないよう対策をお願いします。

区域・期間 県内全域「ツキノワグマ出没注意報(冬期)」 令和8年1月16日～令和8年4月15日

❗ 冬のクマから体と命を守るための3箇条

倉庫侵入被害(玄ソバ、玄米)

カキの木被害

① 誘引物に注意

クマはエサを求めて里地に下りてきます。
誘引物がないか住宅周辺を確認してください。

② 建造物侵入に注意

冬になると里地でもだんだんとエサが少なくなります。
若く経験の少ないクマなどはこれから山に入って冬眠穴を見つけることが難しいため、空き家や倉庫などに侵入する可能性があります。戸締まりや定期的な見回りが重要です。付近にクマがいる危険性もあるので、周辺を観察し、音をたててから近づくようにしましょう。

③ フィールドサインに注意

フィールドサインとは、クマが出没した後に残されている足跡や糞などの痕跡のことです。
雪が積もればフィールドサインを見つけやすいです。また、建物に頻繁に出入りしている場合は、周辺に痕跡がたくさん残されています。痕跡や目撃情報は常に地域で共有しましょう。



❗ クマに出会わないためにできること

1 目撃情報を調べましょう

クマがどこにいるのかわかることが大切です。
県警のポリスメールや自然保護課の目撃マップを活用しましょう。

クマの目撃マップはこちら↓



福島県ホームページ

2 クマ鈴やラジオなど音のするものを身につけて行動しましょう

クマの生息している場所では、**クマ鈴、ラジオなど音のするものを身につけ**、クマに自分の存在を知らせましょう。藪や河川敷に入る際は、事前に花火を打つなど追い払いを行いましょう。

各地方振興局でクマ鈴を貸出します



3 朝夕の登山や散歩、農作業を行う際は、複数人での行動、クマ鈴等の携帯を徹底しましょう

朝夕はクマが最も活発に行動する時間帯です。朝夕の入山や農作業には十分注意しましょう。

4 屋外に生ゴミ・野菜・未収穫の果物・ペットフードを置かないようにしましょう

クマは**餌に対する執着が非常に強い**です。一度人間の食べ物や生ゴミの味を覚えてしまうと、頻繁に人里へ出没してしまうため、クマの食べ物になるものを置かないようにしましょう。
また、畜舎や小屋に侵入し、餌を食べることもあるため、侵入されないよう対策しましょう。